

調査シート

ふりがな
 名前
 ○をつける 小学生 ・ 中学生 ・ 高校生以上 (成人含む)
 メールアドレスまたは電話番号 (成人のみ)

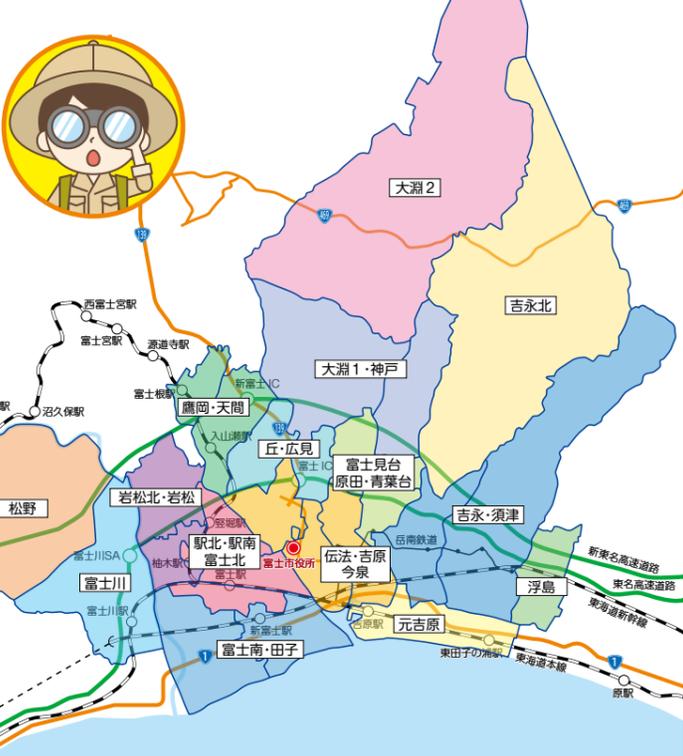
場所 (地区、目じるし)	環境	確認できたいきもの	日にち
例 丘 地区	住宅地	オオキンケイギク	6/1
地区			

場所 (地区、目じるし)	環境	確認できたいきもの	日にち
地区			

FAX 0545-51-9854 (富士市役所環境保全課)

地区の分け方

自然環境をふまえながら、小学校区・中学校区に地区を分類して、調査を行います。
 地区は調査シートに記入してください。



環境の分け方

森林 富士山や愛鷹山など郊外で広い範囲にわたって樹木があるところ	公園 都市公園のほか、小規模な児童遊園などの公園
樹林地 屋敷林や雑木林、神社・お寺の林、工場の緑地帯など	住宅地 住宅やお店が並んでいるところ。学校や公共施設、街路樹、駅前など
田んぼ(湿地) イネなどを育てているところ	水路・河川 用水路や川など。堤防や堤防沿いの林(河畔林)も含む
畑・草地 野菜や果物を育てているところや、地面が草で覆われているところ	海岸 海の近くの砂浜や堤防などがあるところ

2025年度 富士市 いきもの調査

サワトラノオ
 富士市天然記念物
 (浮島ヶ原のサワトラノオ群落)
 浮島ヶ原に生育

アカウミガメ
 絶滅危惧ⅠB類(国)
 絶滅危惧ⅠA類(静岡県)
 富士海岸で産卵

ツキノワグマ
 (富士地域)
 絶滅のおそれのある地域個体群(静岡県)
 富士山・愛鷹山に生息

ノウルシ
 準絶滅危惧種(国)
 絶滅危惧Ⅱ類(静岡県)
 浮島ヶ原に生育



みんなの住む富士市には、たくさんの動物や植物がいて、川や海、山などの自然にも恵まれているよ。でも、人の生活が変わっていく中で、豊かな自然が失われつつあるんだ。その自然を守っていくための第一歩として、みんなには富士市のいきものを調査してもらいたいんだ！

参加対象：富士市の自然に興味のある人なら誰でも
 調査期間：令和7年10月31日(金)まで
 提出先：富士市役所10階環境保全課、または、各地区まちづくりセンターへ(詳しくは調査手順を見てね)
 提出期限：令和7年11月7日(金)

1 調査の準備をする

- 調査に必要な持ち物を用意してください。
- いきものの特徴や注意することをよく読んでください。
- 調査する日にちや時間、場所を決めてください。
- 遠くに行きたい場合は、家族の方とよく相談してください。

【注意事項】

- 川や用水路に近づきすぎない（中には入らない）
- 小さい子どもは必ず大人といっしょに出かける
- ハチなど危険ないきものに近づかない
- 田んぼや畑、空き地などに勝手に入らない
- いきものを捕まえたり、花をとったりせず、その場で観察する

2 調査を開始する

- 調査対象のいきものを調査してください。
- 調査シートに記入します。
(調査対象種以外を記入しても構いません。)

① 場所 (地区、目じるし)	② 環境	③ 確認できた生きもの	④ 日にち
吉原地区 (自宅)	住宅地	ツバメ スズメ	7月10日

- いきものを見つけた地区を書きます。
 - いきものを見つけた環境を書きます。
 - 見つけたいきものを書きます。
 - いきものを見つけた日にちを書きます。
- ※地区と環境の分け方は裏表紙を見てください。

3 結果を報告する

- 調査シートに名前などを記入し、提出してください。提出方法は持込み、FAX、メールまたは電子申請です。
- 持込み：富士市役所 10 階環境保全課、または、各地区まちづくりセンターへ
- FAX：0545-51-9854 (環境保全課)
- メール：市ウェブサイトから書式をダウンロードし、入力したデータを送信してください。

「調査シートの電子データ」
や「電子申請」はこちら

服装や持ち物

必要な持ち物を準備しましょう。服装やルールを守って、事故やけがのないように調査をしましょう。
(天気や気温にあった服装を選んでください。)

服装

ぼうし
長そで
リュックサックなど
両手が使えるいれもの
長スポン
歩きやすく、底がしっかりした靴

持ち物

- このリーフレット
- 鉛筆やペン

あと良いもの

- カメラ (スマートフォン)
- 水とう
- メモ帳
- 虫眼鏡や双眼鏡
- 軍手
- 下敷きやバインダー

A = 特徴・時期 B = 大きさ C = 場所 D = 近くで見られるいきもの

ウメノキゴケ

A 葉の色は灰色がかった白色から灰色がかった緑色で光沢がありません。樹皮や岩上(とくに右垣)に着生しています。

B 直径 10 ~ 25 cm

C 森林、樹林地

D サクラ、ウメ、サヤゴケ、タンポポ、ザトウムシ

クマゼミ

A 体は背面全体が光沢のある黒色で、羽が透明です。雄の腹弁(お腹にある鳴き声を出すための器官)は長円形で、光沢のある橙色です。

B 6.3 ~ 7 cm

C 森林、樹林地、公園、住宅地 など

D ケヤキ、サクラ、アブラゼミ、ニイニイゼミ、ツクツクボウシ

ヒメボタル

A 幼虫のときも陸地で生活する陸生ボタルです。前胸部は淡い赤色、前縁に黒色の半円形があります。

B オス：9 mm・メス：7 mm

C 森林、畑・草地

D バイケイソウ、クワガタソウ、オオイタヤメイゲツ、フナ、ミスナラ、ミヤマクワガタ

カワセミ

A 頭が大きくてくちばしは長いです。オスのくちばしは黒く、足は赤いです。メスはくちばしが赤く、幼鳥は色が鈍く黒ずんでいます。

B 17 cm

C 池、湖沼、水路・河川

D エビモ、アメリカザリガニ、クチボソ、オイカワ

モリアオガエル

重要種
貴重な生きもの

A 背中は緑色で、目は赤色なのが特徴です。伊豆半島などでは赤茶色のまだら模様ができます。吸盤が発達していて、上手に木に登ります。

B オス：5 ~ 7 cm・メス：6 ~ 9 cm

C 森林、池、田んぼ(湿地) など

D ヒノキ、コウヤノマンネンゴケ、コナラ、ヤマユリ、アオダイショウ、アサギマダラ

ドジョウ

A 口ひげは5対あり、体は円筒形で細長いです。黄色がかった茶色で背中側は濃く、腹側は薄いです。また、背中には不明瞭な斑紋があります。

B 15 cm

C 田んぼ(湿地)、水路・河川 など

D ジュズダマ、クサヨシ、カダヤシ、クロベンケイガニ、ヒメガムシ、アメリカザリガニ、フナ、メダカ

オオキンケイギク

特定外来生物

A 花びらの先が4~5つにわかれています。葉の周囲はやや肉厚で、表面にうっすら毛がはえています。そして冬にはロゼット状になります。

B 50 ~ 80 cm

C 水路・河川、公園 など

D フタナ、ヒメジョオン、ヤマトシジミ、ルリシジミ

アメリカザリガニ

条件付特定外来生物

A 体は赤色です。食べ物に含まれている赤色素によって赤くなっています。水田や池、流れのゆるやかな河川、水路などにすんでいます。

B 12 cm

C 田んぼ(湿地)、水路・河川 など

D ドジョウ、カダヤシ、クロベンケイガニ、メダカ、ヒメガムシ、アサギ、カワセミ

クサガメ

外来種

ミシシッピアカミミガメは目の後ろに赤い模様があるよ

A 甲羅の色は褐色から黒色です。身を守るために臭いにおいを出すので、「クサガメ」と名付けられました。

B 背甲長(こらうの長さ) 30 cm

C 水路・河川、湖沼 など

D ウシガエル、ミシシッピアカミミガメ、イシガメ、スッポン

がいらいしゆ 外来種って?
外来種とは、もともと日本にいなかったいきもので、人間により外国から日本に持ち込まれたものをいいます。(アメリカから連れてこられたカミツキガメやブラックバス、台湾から連れてこられたタイワンリスなど)

とくていがいらいせいぶつ 特定外来生物って?
特定外来生物とは、海外からやってきたいきものうち、生態系(森、里、川、海など)、人のいのち、畑の野菜や漁師さんがとる魚などへ被害を及ぼすもの、または、及ぼすおそれがあるものの中から指定されます。指定されたいきものについては、輸入(海外から日本に入れる)、逃がす、飼う、人にあげることなどが禁止されています。